相手の顔を見ながら話がしたい

テレビ電話

テレビ電話

標準テレビクラス（SD品質相当）の高画質のテレビ電話が実現！

顔を見ながら電話できるからより気持ちが伝わる

ひかり電話契約ごとのご契約となります

テレビ電話

月額利用料金 無 料

工事費 無 料

通話料金

FOMA®へのテレビ電話通話料	30円（税込31.5円）/60秒
ひかり電話へのテレビ電話通話料	15円（税込15.75円）/3分
標準テレビクラス（SD品質相当）を超える場合（ご利用帯域が2.6Mbpsを超える場合）	100円（税込105円）/3分

★「FOMA®」から「ひかり電話」へのテレビ電話通話料は、NTTドコモ各社の定めるデジタル通信料金が適用されます。

お申し込み・サービス内容に係わるお問い合わせ先について

0120-116116 ［受付時間］午前9時～午後9時

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

土曜・日曜・祝日も受付中（年末年始を除きます）。電話番号をお確かめのうえ、「0120」から正しくダイヤルしてください。

テレビ電話とは

●ひかり電話に接続したIPテレビ電話端末「フレッツフォンVP100/1000/1500」及び「クルリモ（ひかりホームカメラ HC-1000）」とNTTドコモの「FOMA®」との間で、テレビ電話が可能となるサービスです。本サービスを契約しているひかり電話契約者同士でもテレビ電話がご利用いただけます。

●標準テレビクラス（SD品質相当）のテレビ電話もご利用いただけます。※

※標準テレビクラス（SD品質相当）の映像をご利用いただくためには、IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1000/1500」が必要です。
★ご利用にはお申し込みが必要です。なお、「テレビ電話」と「高音質電話」はセットでお申し込みいただくこととなり、どちらもご利用が可能となります。
★本サービスに対応したひかり電話対応機器をご利用いただく必要があります。
★ひかり電話同士のテレビ電話接続の通信時は「FOMA®」と通信する際と同等の品質となります。
★標準テレビクラス（SD品質相当）のテレビ電話は、フレッツ 光ネクストで提供されるひかり電話でNTT西日本/東日本間の接続が可能です。

工事費

テレビ電話の工事費は無料です。
ひかり電話対応機器の設置・設定が必要な場合は別途下記の工事費が必要となります。

	テレビ電話工事費	
	NTT西日本がひかり電話対応機器を設置する場合	お客さまご自身でひかり電話対応機器を設置いただく場合
「テレビ電話」のみ新規で工事する場合	8,500円（税込8,925円）	無料
「ひかり電話」「テレビ電話」を新規で同時工事する場合	8,500円（税込8,925円）	無料
「フレッツ 光ネクスト」と「ひかり電話」「テレビ電話」を新規で同時工事する場合	無料※	無料※ ★ひかり電話対応機器の設置・設定はNTT西日本が実施いたします。

※ひかり電話対応機器の設置・設定工事費として4,000円（税込4,200円）が必要になる場合があります。
★テレビ電話と同時に「複数チャネル」「追加番号」を工事する場合、上記工事費は不要です。
★「フレッツフォンVP100/1000/1500」及び「クルリモ（ひかりホームカメラ HC-1000）」の設定工事は含まれておりません。
★「ひかり電話」および「フレッツ 光ネクスト」の工事費は含まれておりません。

ご利用上の注意事項

●本サービスのご利用にはお申し込みが必要です。なお、「テレビ電話」と「高音質電話」はセットでお申し込みいただくこととなり、どちらもご利用が可能となります。
●本サービスをご利用いただくためには、IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP100/1000/1500」及び「クルリモ（ひかりホームカメラ HC-1000）」が必要となります。その他のテレビ電話端末やパソコンを使った映像通信はご利用いただけません。
●標準テレビクラス（SD品質相当）の映像をご利用いただくためには、IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1000/1500」が必要です。なお、ファームウェアのバージョンは、「フレッツフォンVP1000」は3.000.05.803150、「フレッツフォンVP1500」は2.000.05.803150である必要があります。ファームウェアのバージョンアップにはインターネット接続が必要です。
●ひかり電話対応機器のLANポート（「フレッツフォンVP100/1000/1500」及び「クルリモ（ひかりホームカメラ HC-1000）」を接続するポート）数は4ポートです。
●ハイビジョンクラスは、フレッツ 光ネクスト ビジネスタイプで提供するひかり電話オフィスタイプでご利用いただけます。

●ひかり電話同士(標準テレビクラス〔SD品質相当〕の対応機器でない場合)のテレビ電話接続の通信時はFOMA®と通信する際と同等の品質となります。

●標準テレビクラス(SD品質)のテレビ電話にて、フリーアクセス・ひかりワイド番号(「0120」「0800」)への着信はできません。通信機器の自動再接続機能により、標準音質の音声での接続となります。

●「フレッツフォンVP100/1000/1500」からの発信は、全てテレビ電話(映像+音声)での発信となります。ただし、接続先端末が映像通信機能を持たない場合は、音声のみの接続となります。その場合は、テレビ電話通話料ではなく、音声通話料が適用されます。

●「フレッツフォンVP100/1000/1500」には、通信開始時の映像ON/OFF選択機能がありますが、映像をOFFにされていてもテレビ電話通信時にはテレビ電話通話料が適用されます。

●FOMA®とテレビ電話を利用する場合、相手の電波状態等により、映像や音声が乱れたり、切断となる場合があります。また、ひかり電話ご利用者の周りの雑音が大きい場合には、相手側の声が聞きとりづらい、もしくは聞こえないことがあります。

【映像通信可能な接続形態】

映像通信が可能となる通信相手は、NTT東西の「ひかり電話契約者」、ならびにNTTドコモの「FOMA®※1契約者」です。

発信者＼着信者	ひかり電話(フレッツ光ネクスト)契約者	西日本エリアのひかり電話(フレッツ・光プレミアム)契約者	東日本エリアのひかり電話(Bフレッツ)契約者	FOMA®契約者	050IP電話のテレビ電話サービスや他の移動体事業者のテレビ電話サービス
ひかり電話(フレッツ光ネクスト)契約者	○	○※2	○※2	○※2	△※3
西日本エリアのひかり電話(フレッツ・光プレミアム)契約者	○※2	○※2	○※2	○※2	△※3
東日本エリアのひかり電話(Bフレッツ)契約者	○※2	○※2	○※2	○※2	△※3
FOMA®契約者	○※2	○※2	○※2	―	―
050IP電話のテレビ電話サービスや他の移動体事業者のテレビ電話サービス	×※4	×※4	×※4	―	―

○:映像通信可能　△:音声通話　×:通信不可

標準テレビクラス(SD品質相当)のテレビ電話をご利用いただくためには、発信者と着信者の双方がアクセスサービスとして「フレッツ光ネクスト」契約者であることが条件となります。また、IPテレビ電話端末「フレッツフォンVP1000/1500」が必要です。

※1　相手のFOMA®が海外にいる時は、映像通信の発着信はできません。
※2　標準品質で接続します。
※3　映像接続不可の場合は、基本的には、標準音質の音声にて接続します。
※4　発信者側の接続条件によります。

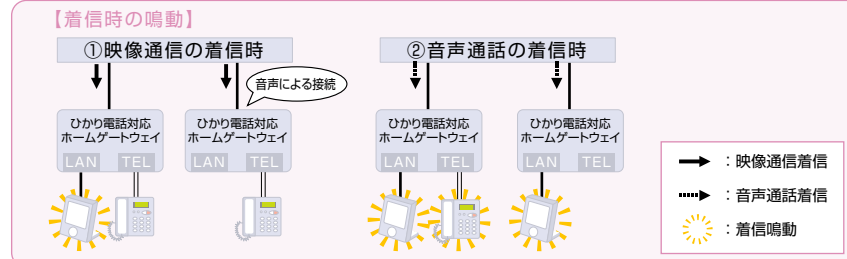
●「フレッツ 光ネクスト マンションタイプ」でVDSL方式をご利用の場合、集合型VDSL装置から宅内VDSL装置間の設備状況により通信帯域が確保できずテレビ電話が提供できない場合があります。

【1XY番号への発信】

・110、119、118等の1XY番号(184、186を除く)への発信時は、音声通信となります。

【着信鳴動】

①映像通信の着信時
映像通信端末がある場合、映像通信端末のみ鳴動します。(映像通信端末がない場合は、鳴動せず、音声による接続を待ちます。)

②音声通話の着信時
映像通信端末の有無にかかわらず、応答可能な全端末が鳴動します。

他の付加サービスと合わせてご利用いただく場合の留意事項

■複数チャネル

・テレビ電話での映像通信については、お申込内容に応じて、最大同時2通話が可能です。

■ボイスワープ

・テレビ電話の転送可能な条件は以下のとおりです。

①転送先が、テレビ電話接続可能であること。
(転送先が契約条件や端末条件によりテレビ電話接続不可の場合は、映像転送できません。標準音質の音声通話にて再接続された場合は転送できます。)

②発信者が、「ひかり電話(フレッツ 光ネクスト)」もしくは「ひかり電話(Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)」(テレビ電話契約有り)で映像発信した場合であること。
(発信者がFOMA®の場合は、映像転送できません。標準音質の音声通話にて再接続された場合は転送できます。)

③転送条件が、無条件転送もしくは話中時転送であること。
(無応答時転送の場合は、映像転送の可否は、転送元端末に依存します。発信者と転送元端末の接続において端末能力の不一致が生じ、発側端末が標準音質の音声にて自動再接続を行った場合には、音声で転送されます。)

接続パターン	発信者	転送元	転送先	転送元から転送先への転送動作
1	FOMA®※1	ひかり電話(フレッツ光ネクスト)	FOMA®	音声にて接続(音声転送)
2			ひかり電話(Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)※4	
3			ひかり電話(フレッツ 光ネクスト)※5	
4			加入電話	
5	ひかり電話(Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)※4	ひかり電話(フレッツ光ネクスト)	FOMA®	音声転送
6			ひかり電話(Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)※4	
7			ひかり電話(フレッツ 光ネクスト)※5	
8			加入電話	音声にて接続(音声転送)
9	ひかり電話(フレッツ光ネクスト)※5	ひかり電話(フレッツ光ネクスト)	FOMA®	映像転送※2※3
10			ひかり電話(Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)※4	音声転送
11			ひかり電話(フレッツ 光ネクスト)※5	映像転送※2※3
12			加入電話	音声にて接続(音声転送)

※1　FOMA®端末が音声による再接続を許容する設定となっている必要があります。
※2　無応答転送の場合、映像転送可否は、転送端末に依存。(発信者と転送元端末にて自動再接続による音声再接続を行った場合、音声で転送されます。)
※3　発信者がひかり電話の映像転送の品質は、転送条件が無応答転送以外は、発信者と転送先で通信可能な最も高い品質での映像転送を行います。(これにより、標準テレビクラス(SD品質相当)でのテレビ電話発信の映像転送は、転送先が標準テレビクラス(SD品質相当)対応であれば、標準テレビクラス(SD品質相当)で転送されます。)また、無応答転送の場合は、映像転送の品質は、転送元と転送先で通信可能な最も高い品質での映像転送を行います。
※4　ひかり電話オフィスタイプを含みません。
※5　ひかり電話オフィスタイプを含みます。

■ナンバー・ディスプレイ	・ナンバー・ディスプレイをご利用いただけますが、ナンバー・ディスプレイに対応していない電話機は、ひかり電話対応機器の該当ポートのナンバー・ディスプレイ設定※を「使用しない」に変更してご利用ください。 ※ひかり電話対応機器の各ポートのナンバー・ディスプレイ設定（初期設定）は「使用する」になっています。 ★万一、ナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続し、ひかり電話対応機器の設定変更をしていない場合、短い断続した呼出し音の後、通常の呼出し音が聞こえますので、通常の呼出し音に変わってから電話にでるようにしてください。通常の呼出し音になるまで5～6秒かかります。 ★ひかり電話対応機器の設定方法詳細につきましては、各端末同梱の取扱説明書をご参照ください。
■FAXお知らせメール	・FAXお知らせメールをご利用中（開始中）に、テレビ電話の着信があった場合、音声のみで接続され、発信者は「ピー」というFAX受信音が聞こえます。また、FAXお知らせメールご利用者には、「受信結果」に「受信エラー」と表示されたメールが送信されます。
■キャッチホン	・キャッチホン起動時にテレビ電話を着信した場合は、テレビ電話による接続が出来ないため、標準音質の音声での接続となります。
■高音質電話	・「テレビ電話」と「高音質電話」はセットでお申し込みいただくこととなり、どちらもご利用が可能となります。